

『AFAによるPVIおよびDiamond Tempを使用したCTIアブレーション』

華岡青洲記念病院 鎌田 壘

本症例においては両側肺静脈隔離術を Medtronic 社の冷凍バルーンシステム Arctic Front Advance(AFA)を用いて、CTIアブレーションについては同社のDiamond Tempにて焼灼を施行した。近年は持続性心房細動に対しても AFA の使用頻度が高まっているが、本症例においてもその durability や術前の左房および肺静脈解剖を考慮し適用とした。また Diamond Temp アブレーションカテーテルは現在薬剤抵抗性再発性症候性発作性心房細動および通常型心房粗動に対し適応となっている。特徴としては、組織表面温度を直接測定することで目標温度設定に応じた自動出力調整がなされることである。実際の焼灼の局所電位やジェネレータの抵抗値の変化などに留意した焼灼が必要であり、本症例を通じてその操作性、各種焼灼における指標など実際の情報を共有できればと考えている。